

令和7年度 大平中央小学校 学校教育基本構想

《大平南ブロック教育目標》 <身に付けたい力> (知) 学び続ける力 (徳) つながる力 (体) やりぬく力
『ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成』

【目指す学校像】

「元気一杯で、ともに学び合い、ともに支え合う学校」
ー 強い心身・学ぶ力・思いやりと自尊感情の育成 ー

- 安全で、安心でき、信頼される学校
- 心身の健康を保持・増進し、目標達成の達成感を実感できる学校
- 自ら学ぶ力を身に付け、学ぶことの楽しさを実感できる学校
- 善悪の判断力を高め、人として成長できる学校
- 一人一人が大切にされ、お互いに可能性を伸ばし合える学校
- 学びや育ちが異校種間でつながり、地域とともにある学校

本校の教育目標

じょうぶな子
よく考える子
支え合う子



【目指す教職員像】

「自信と誇りをもって子供たちと向き合える教職員」
ー 元気、根気、前向き ー

- 元気一杯、笑顔一杯に、粘り強く前向きに挑戦する教職員
- 子どもを敬愛し、子どもから学び、子どもに寄り添うことができる教職員
- 指導力向上を目指し、主体的に学び続ける教職員
- コミュニケーションを図り、協働できる教職員
- 豊かな人間性を身に付け、やりがいを感じることができる教職員

<経営方針>

- ・安全・安心な学校を基盤に、心身の健康の保持増進と道徳教育の充実、学力向上を図り、自他を思いやる温かな心、善悪の判断力を身に付け、主体的に考え、表現できる児童を育てる指導の工夫に努める。（「カリキュラム・マネジメント」・「学力向上研究」の推進）
- ・特別支援教育の視点に立った児童理解を基に、児童が自律することを目指し、自己肯定感や自己有用感を味わえるような、組織的、協働的な指導・支援に努める。（「特別支援教育」「児童指導」の推進）
- ・幼保・小・中の学びの連続性と一貫性のある教育を行い、保護者・地域とともに質の高い学びと持続可能な教育活動の実現に努める。（「社会に開かれた教育課程」の推進）
- ・教育公務員としての自覚と覚悟をもち、互いに協働し、授業を中心とした指導力の向上と業務改善に努める。（「資質・能力」の向上・働き方改革の推進）

目指す子ども像

(じょうぶな子) あきらめずに挑戦する力(やりぬく力)

- 健康で安全な生活態度が身に付き、運動に親しみ、進んで体力の向上に努める子ども
- 夢や希望をもち、根気強く努力を続ける子ども

(よく考える子) 自分で考え、伝える力(学び続ける力)

- 基本的な学び方や学習習慣、基礎的、基本的な学習内容を身に付け、自ら学ぶ楽しさと分かる喜びを実感できる子ども
- 自ら考え、判断し、伝えることができる子ども

(支え合う子) 自他を大切にする力(支え合う力)

- 基本的な生活習慣と節度ある態度(言動)を身に付けた子ども
- 人と関わり、人を敬い、人の嫌がることをしない、人としてよりよく生きるために、支え合える子ども

具体策

- ①校内・校外における安全管理・指導の充実（廊下や階段の歩行、休み時間の過ごし方、登下校や放課後の交通指導等）
- ②早寝・早起き・朝ごはんの奨励（自己管理能力の育成）
- ③給食指導や各教科等との関連を図った食育の実施
- ④身に付けさせたい力を明確にし、楽しさと活動量に満ちた体育授業の実施
- ⑤主体的に取り組む体力づくりと体育的行事の工夫・充実
- ⑥外遊びの奨励、異年齢集団活動の工夫と充実
- ⑦達成感、自己肯定感や自己有用感を味わえる場の設定と充実
- ⑧望ましい自己形成を図ることに関する内容項目(道徳科)の充実
- ⑨9年間を見通した目指す子ども像の実現を目指した、つながりのある教育の実践（大平南ブロック小中一貫教育重点目標達成に向けた取組内容の実践、キャリア教育の充実）
- ⑩幼・保・小・中間における連携と情報共有

- ①学習の仕方の指導の徹底（姿勢・返事・聴く・発表・ノート等）
- ②「朝の活動」の充実(計画的、継続的な取り組み)
- ③家庭学習や家読の習慣化(学習強調週間・音読・読書の奨励)
- ④個に応じたきめ細かな指導の充実(タブレット等による効果的な情報活用等)
- ⑤「学びに向かう集団づくり」と「児童が意欲的に取り組む授業づくり」の推進（「学業指導」の充実）
- ⑥児童理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた安心感を高める環境づくりと支援の充実（大平南ブロック12の実践項目）
- ⑦質の高い学びを実現するために、「とちぎ未来アシストネット」を活用した体験的な学習や交流活動の充実（ふれあい学習）
- ⑧身に付けさせたい力を明確にした、「できた」「分かった」を実感できる授業の展開（「とち介の学び」による授業改善）
- ⑨集団で学ぶことのよさを生かし、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の推進（学習意欲を高める工夫とタブレットの効果的な活用）

- ①挨拶・返事・整理整頓を中核に据えた基本的な生活習慣の定着（児童会・PTA・地域との連携）
- ②自尊感情を高める言葉遣いや称賛・支援
- ③家庭や大平南ブロックの連携による「5つの約束」と自律を目指した指導・支援の充実
- ④児童が安心できる居場所づくりと互いに認め合う絆づくりと道徳教育・人権教育の推進（生命尊重・人権尊重）
- ⑤縦割り班活動や異年齢集団活動の充実(自主的・実践的に取り組む児童会活動)
- ⑥考え議論する道徳科授業の工夫と充実（重点内容項目）
- ⑦特別支援教育の視点に立った児童理解と子どもに寄り添う教育相談の充実（すくすくシートの有効活用）
- ⑧外国籍児童を生かした国際理解教育の推進
- ⑨問題行動等に対する早期発見、情報の把握・共有と児童指導委員会や学年等を生かした組織的・協働的対応
- ⑩郷土愛を育む系統的なふるさと学習の実施と充実

学校運営協議会

地域とともにある学校

とちぎ未来アシストネット